

わかりやすく解説



花巻市の財政

(令和7年度当初予算から)



花巻市のマスコットキャラクター
フラワーロールちゃん

花巻市の財政状況を
わかりやすく
解説します。

もくじ

- その1 市民生活を支える財政・・・・・・・・・・ 1
- その2 令和7年度予算をもとに
花巻市の財政状況を見てみよう
- ① 花巻市のお財布はどうなってるの? 2
- ② 市の歳入はどんな状況?・・・・・・・・ 3
- ③ 市の歳出はどんな状況?・・・・・・・・ 4
- ④ 市の基金(貯金)の状況は?・・・・・・ 5
- ⑤ 一般会計地方債(借金)の状況は?・・ 5
- 資料・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6

花 巻 市

その 1

市民生活を支える財政

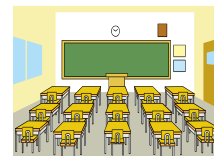
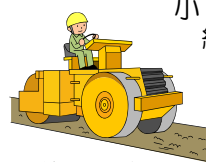
● 財政は私たちの生活を支える重要な役割をはたしています

市民の皆さんから納めていただく税金や使用料、国・県からの補助金、交付金など、また、銀行等からの借入金（市債）などの収入を、どんな目的（福祉や教育など）に使うかを定めることを「財政」といいます。

それを数値で示したものが「予算」であり、また、計画した予算をどのように使ったか、その実績と成果を明らかにしたものが「決算」です。



● 皆さんの生活の中のさまざまな行政サービス



このようなたくさんの行政サービスを行っていく上で必要となるお金をやり繰りしているのが財政であり、市民生活を支えるとても重要な役割を果たしています。家計に例えれば、給料などで得た収入を、食事にどれくらい使おうか、子どもの教育にいくらかけようかなど、その使い道を考えることと同じです。

日常生活に関わりの深い主な行政サービス

- こどもや高齢者などへの福祉サービス
- 検診や予防接種などの健康事業
- 防災・安全対策
- スポーツ・文化施設の管理運営
- 広報紙などによる広報活動
- 道路・公園の整備
- 学校の維持管理
- ごみと資源の収集
- 消防・救急活動

など

その 2

令和7年度予算をもとに 花巻市の財政状況を見てみよう

1

花巻市のお財布はどうなってるの？

花巻市の予算は、「一般会計」と「特別会計」の2種類の会計があります。2つの財布があって、それぞれお金を出し入れするしくみです。

また、下水道事業等については、「公営企業会計」として別に管理しています。



1 番目の大きい財布が「一般会計」です。

一般会計
581億7,862万円

一般会計とは、教育・福祉・道路整備・ごみ処理など皆さんの生活に深くかかわるお金を管理する会計です。

財源には、市税を主とする自主財源と、国や県からの補助金や市債などからなる依存財源があります。

令和7年度の当初予算の額は、581億7,862万円です。

2 番目の財布が「特別会計」です。

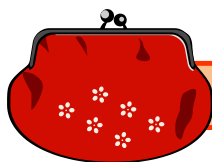
特別会計とは、特定の目的のために、保険料や使用料などの特定の収入で運営していく事業の会計で、お金の出入りをはっきりさせるために、一般会計とは別に管理しています。

花巻市には、国民健康保険特別会計など5つの特別会計があります。



特別会計
234億418万円

- | | | | |
|--------------|------------|------------------|-------------|
| ● 国民健康保険・・・ | 83億7,358万円 | ● 介護保険・・・・・・・・・・ | 110億8,013万円 |
| ● 後期高齢者医療・・・ | 25億3,061万円 | ● 公設地方卸売市場・・・・・・ | 4,570万円 |
| ● 産業団地・・・・・・ | 13億7,415万円 | | |



参考：下水道事業等は「公営企業会計」です。

公営企業会計
72億2,210万円

公営企業会計とは、特別会計の中でも、一般の会社と似たような方法でお金の管理を行う会計です。

花巻市では、下水道事業がこれにあたり、それぞれの使用料を財源として施設の維持管理を行ったり、国や県からの交付金などで施設の建設や更新を行ったりします。

令和7年度の当初予算の支出総額は、72億2,210万円です。

2 市の歳入（入ってくるお金）はどんな状況？

では、皆さんに一番身近で、一番お金の出入りが大きい一般会計のお財布を例に、令和7年度の歳入（入ってくるお金）がどのようなになっているのか見てみましょう。



花巻市の歳入（入ってくるお金）には、自主財源と依存財源の2種類の性格があります。

自主財源
231億3,985万円
(39.8%)

皆さんに納めていただく市税や、スポーツ施設などの施設を利用する時に納めていただく使用料、住民票や印鑑証明を交付するときにいただく手数料、イーハトーブ花巻応援寄附金（ふるさと納税）を含む寄附金など、花巻市が自主的に調達することができるお金のことを言います。

寄附金のうちふるさと納税は、令和6年度当初予算と同額の50億円を見込んでおり、半分は寄附を頂いた方への返礼品などの経費に、残り半分は主に国や県からの補助金が見込めないソフト事業を中心に充てることを予定しています。

依存財源
350億3,877万円
(60.2%)

道路や施設を作るときに国や県からもらう補助金、同じように道路や施設を作るときに借りる市債、国や県から一定の基準でもらう交付金や譲与税がこれにあたります。

依存財源は、市の都合だけでは調達することができないお金です。また、使い道が決められているお金も入っています。

	項 目	金 額	割 合	内 容
自主財源	市税	120億9,331万円	20.8%	市民税や固定資産税など
	使用料及び手数料	6億1,378万円	1.1%	スポーツ施設の使用料など
	分担金及び負担金	5億2,424万円	0.9%	学校給食や保育料など
	財産収入	6,151万円	0.1%	土地や建物の貸付けや売払い料など
	その他	98億4,701万円	16.9%	市の基金からの繰入金、寄附金など
	計	231億3,985万円	39.8%	
依存財源	地方交付税	147億1,000万円	25.3%	国から一定の基準で交付
	国庫支出金	81億1,510万円	14.0%	国から特定の事業の財源として交付
	県支出金	41億4,665万円	7.1%	県から特定の事業の財源として交付
	市債	42億1,390万円	7.3%	金融機関などからの借入れ
	その他交付金	38億5,312万円	6.5%	国、県から一定の基準で交付
	計	350億3,877万円	60.2%	

合 計 581億7,862万円 100.0%

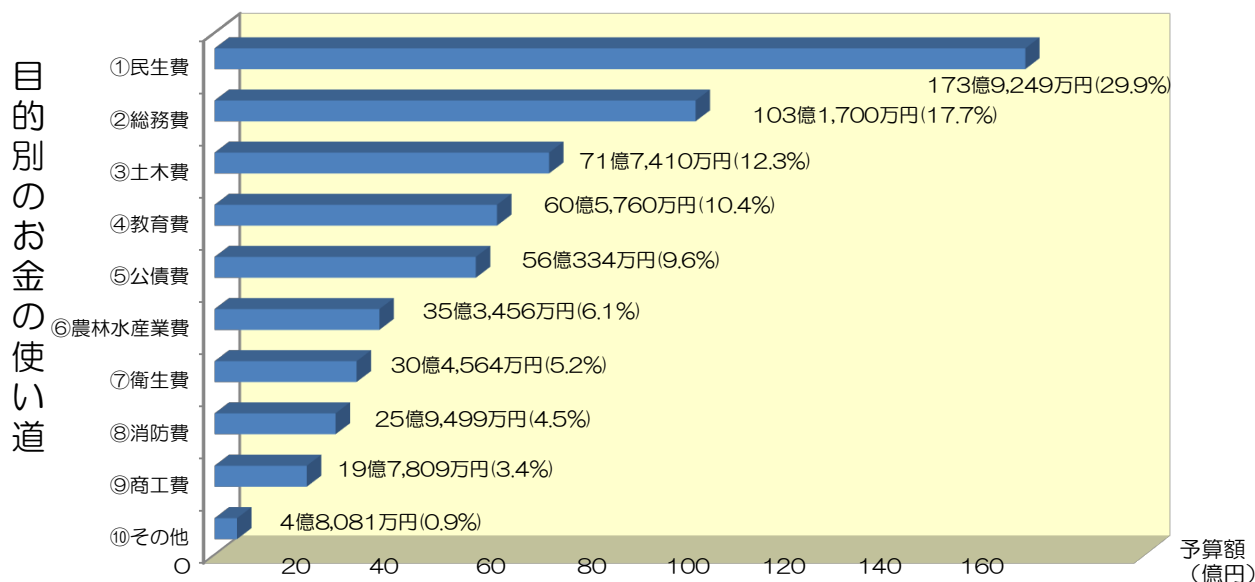
※端数処理の関係で構成比の計は各項目の積み上げと一致しない場合があります

3 市の歳出（出て行くお金）はどんな状況？

入ってきたお金は、どのように使われているのでしょうか？今度は一般会計の歳出（出て行くお金）について見てみましょう。

市では、こども子育てや福祉を特に重視しているほか、道路や施設を作ったり、火災や救急に備えて消防車や救急車を用意したり、ほかにもさまざまな事業にお金を使っています。

どのような目的にどのくらいお金を使っているのかを簡単に説明すると、次のようになります。



①



民生費

子育て支援や高齢者・障がい者福祉、医療費の助成などに使われます。

②



総務費

地域づくりや広報、税金や住民票交付の事務、市庁舎の維持管理などに使われます。防災のためのお金も含まれます。

③



土木費

道路や橋、公園、市営住宅などの整備、管理のために使われます。

④



教育費

学校教育・生涯学習・スポーツなどの振興、これらの施設の整備や運営などに使われます。

⑤



公債費

道路や施設を作る財源などを調達するために市債を発行して金融機関から借りたお金を返すために使われます。

⑥



農林水産業費

農業や林業などで働いている人を応援したり、森林を守る仕事などに使われます。

⑦



衛生費

予防接種など皆さんの健康のための事業や、ごみを集めたり処理したりする経費などに使われます。

⑧



消防費

消防・救急活動のほか、消防車や救急車の管理や購入、消防署の整備、消防団活動などに使われます。

⑨



商工費

商店街や中小企業の応援、企業誘致活動、観光客の誘致や観光施設を管理する仕事などに使われます。

⑩



その他

議会運営のための「議会費」、働いている人や仕事を探している人を応援する「労働費」などです。

※歳出の性質別予算額は資料6ページをご覧ください

4 市の基金（貯金）の状況は？

主な3基金
令和7年度末現在高見込み
96億円
(令和7年度当初予算ベース)

家計における貯金は、地方財政では「基金」が該当します。

花巻市では主な3基金として財政調整基金、減債基金、まちづくり基金があります。

財政調整基金とは？

決算で余ったお金などを積み立て、市税等の減収による財源不足や災害の際に取り崩すことにより、年度間の財源を調整するための基金です。

減債基金とは？

公債費（借金）の償還を計画的に行うために積み立てる基金です。

まちづくり基金とは？

市民の連帯の強化と地域振興のために積み立てる基金です。

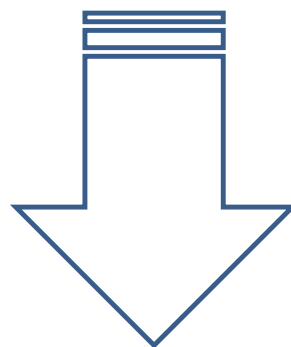


5 一般会計地方債（借金）の状況は？

家計における借金は、地方財政では「地方債」が該当します。

学校や道路などの公共施設の整備には一時的に多額のお金が必要となります。これをその年の収入だけで賄ってしまうと他の仕事ができなくなるため、市債を活用して年度間の負担調整を図っています。

一般会計における市債
令和7年度末現在高見込み
491億円
(令和7年度当初予算ベース)



市債残高のうち後年度に地方交付税として受けることができる額や、民間企業に貸付けを行う場合に発行する地域総合整備資金貸付事業債（後年度、民間企業より市に償還される）があります。

その金額を除くと実質的な市の負担額が分かります。

実質的な
一般会計における市債
令和7年度末現在高見込み
126億円
(令和7年度当初予算ベース)

【歳出予算額内訳（性質別）】					
項	目	令和7年度	構成比	増減額	増減率
義務的経費	人件費	96億9,513万円	16.7%	5億3,029万円	5.8%
	扶助費	103億 230万円	17.7%	5億5,466万円	5.7%
	公債費	56億 316万円	9.6%	△7,573万円	△1.3%
	小計	256億 59万円	44.0%	10億 923万円	4.1%
投資的経費	普通建設事業費	77億 183万円	13.2%	17億 499万円	28.4%
	災害復旧費	200万円	0.0%	0万円	0.0%
	小計	77億 383万円	13.2%	17億 499万円	28.4%
その他の経費	物件費	105億6,392万円	18.2%	2億7,245万円	2.6%
	維持補修費	11億4,497万円	2.0%	△3,302万円	△2.8%
	補助費等	80億3,428万円	13.8%	△1億3,502万円	△1.7%
	積立金	2,515万円	0.0%	318万円	14.5%
	投資出資貸付金	7億7,865万円	1.3%	△6,069万円	△7.2%
	繰出金	42億8,724万円	7.4%	2億6,420万円	6.6%
	予備費	4,000万円	0.1%	0万円	0.0%
	小計	248億7,421万円	42.8%	3億1,109万円	1.3%
合計		581億7,862万円	100.0%	30億2,530万円	5.5%

※端数処理の関係で、合計と各区分の積み上げが一致しない場合があります。